

平成31年度 第1回総合教育会議報告

日 時 平成31年4月8日（月）午後2時から午後2時50分まで
場 所 本庁舎3階 第1・第2・第3委員会室
出 席 者 石井市長、小泉教育長、中村順一郎教育長職務代理者、藤本政一教育委員、
天野ますか教育委員、野尻正人教育委員、庄司有紀教育委員
兼子総務部長、井上企画財政課長、杉本企画財政課企画担当リーダー、
企画担当鈴木、
井上教育次長、奈良学校教育課長、金畑社会教育課長、
杉本学校教育課学校づくり担当リーダー
傍 聴 者 0名

市長挨拶

皆様こんにちは。平成31年度の第1回目の大月市総合教育会議を開催いたしました。が、教育委員の皆様には日頃から、本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

本年度も、皆様のお力をお借りして、大月市内の児童・生徒等がより良い教育環境で勉学に励めるよう努めるとともに、次代を担う本市の子どもたちのため、教職員、保護者、地域の皆様とともに、特色あるふるさと教育の推進に努めて参りたいと考えております。

教育支援室につきましては、設置して4年となり、保護者や教職員に浸透し、欠かせない存在となっております。

保護者並びに教職員からは、児童生徒の教育相談や子育て相談などについての助言をはじめ、課題を抱えている子どもたちに寄り添い、関係機関と連携して指導をしてくれるので心強いとの声をいただいております。

本市独自の取り組みである「家事労働」を取り入れた生活づくりとともに、「家庭学習」に取り組む「チャレンジ大月っ子」や基礎学力の定着と学力向上のため、教員OBの皆様に協力をいただきながら、年間を通して実施しております「大月っ子楽習サロン」についても、子供たちからも保護者からも大変好評であり、昨年包括協定を締結しました「県立都留高校」の生徒にもサロンの講師となっていただく予定であります。

また、外国語学習や国際理解教育の体験活動の機会として、小中高連携により、昨年新たに行いました「大月駅学生ボランティア活動」ですが、大月駅前で外国人観光客に対しての観光ガイドを実施し、大変盛況だったとのことでした。

新たな試みということで、関係者のご協力には大変感謝申し上げます。

新年度の新たな取り組みといたしまして、不登校児童生徒の居場所づくりのために旧強瀬小学校の別棟に設置しました「教育支援センター」が開設されました。保護者や各学校、関係機関と連携するとともに官民が協力して不登校の子どもたちの支援をして参ります。

また、情報教育の充実に向けてＩＣＴ環境の整備や教職員の多忙化改善に向けた取り組みとして「統合型校務支援システム」を導入いたします。

新学習指導要領で規定された「情報活用能力」を育てることと共に、ふるさと大月で豊かに学び、そして夢と希望を持ち、世界に羽ばたく人材の育成に、今後も努めて参ります。

本日の議題は、「平成３１年度学校教育の指針」の１件であります。活発なご意見をいただき、ご審議のほどお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

教育長挨拶

皆様こんにちは。平成３１年度第１回大月市総合教育会議ということで、このような場を設けていただいたことに感謝申し上げます。

この会議で皆様と一緒に本市の教育課題や、激しい社会情勢の中で子供たちを育てていく資質や能力、そのための教育環境がどうあるべきか意見交換し、共有することが大事ではないかと思えます。

本日はよろしくお願いします。

議 事

（１）平成３１年度大月市学校教育の指針について

説明者 小泉教育長

【内容】

「平成３１年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

【協議結果】

協議の結果、原案のとおり、承認された。